

デジタルとリアルの融合による地域生活圏の形成 に向けた交通の活性化とまちづくりについて

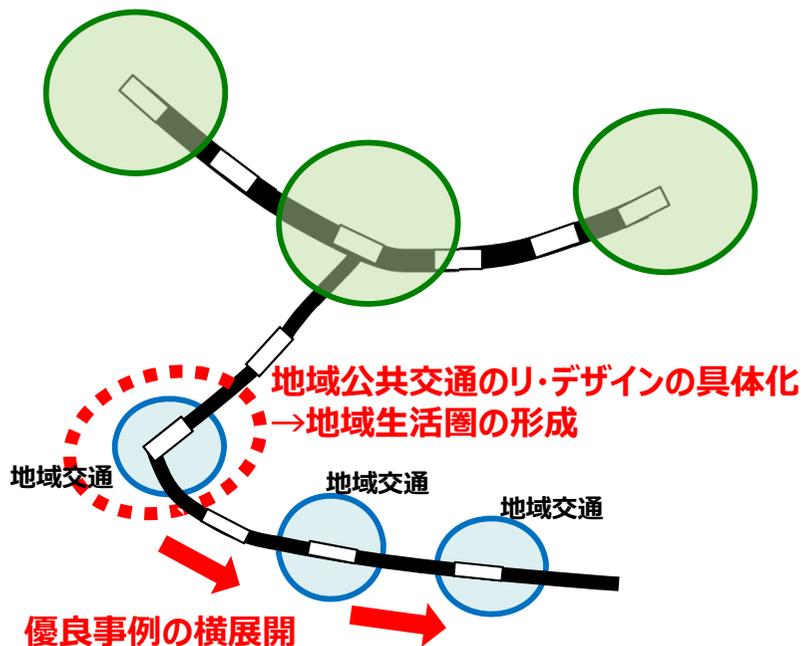
令和5年6月2日

交通ネットワークとデジタルの融合による地域生活圏の形成推進

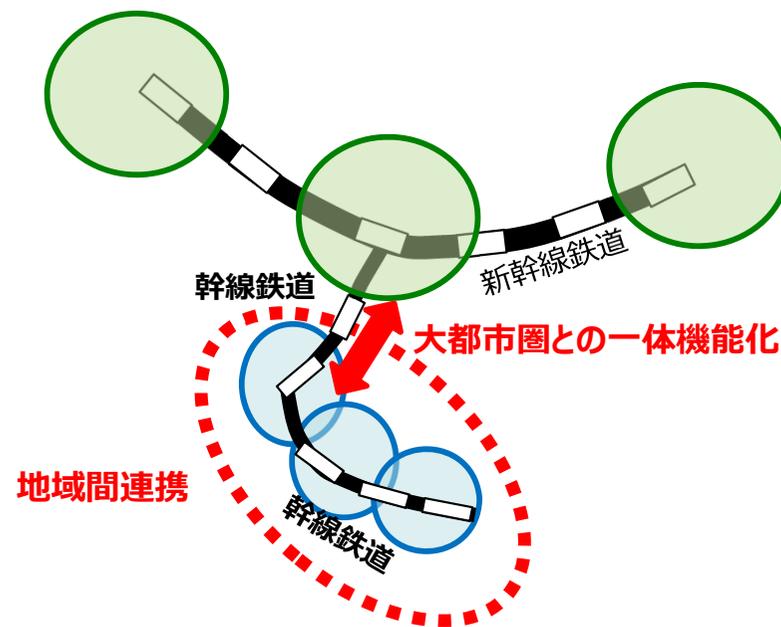
- デジタル田園都市国家構想の実現のためには、**デジタルとリアルを融合**させて、暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「**地域生活圏**」の**形成推進が重要**であり、地域内外の人流・物流を支える社会基盤である**交通の活性化が不可欠**。
- このため、地域内では、**地域の多様な関係者の共創（連携・協働）の促進**による地域公共交通のリ・デザインの取組の具体化や、優良事例の横展開が重要。
- 加えて、人口減少等が進む中、**地域間連携による広域的な地域生活圏の形成**や、**時間距離の短縮による大都市圏との一体機能化**が必要。このため、**地域の社会的課題を解決する取組と連携**して、地域の実情に応じて、これらを支える**幹線鉄道ネットワークの高機能化・サービス向上**が重要。
- 以上の観点から、交通のリ・デザインと地域の社会的課題解決の一体的推進のため、**関係省庁連携による検討体制構築**が必要。

【イメージ】

交通と教育、福祉等の多様な関係者の共創により、暮らしに必要なサービスが持続的に提供される**地域生活圏を形成**



地域間連携及び**大都市圏との一体機能化**による、地方への企業の誘致等による雇用の創出、複数地域で必要となるサービス（教育、医療等）の**共通化**

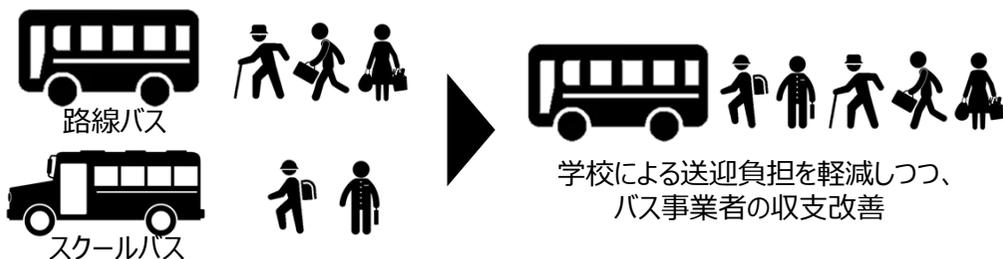


【参考】地域交通における様々な分野との連携・協働の推進

○ 官民間、交通事業者間、交通・他分野間における地域の関係者の連携・協働＝「共創」により、利便性・持続可能性・生産性の高い地域公共交通ネットワークへ「リ・デザイン」＝再構築

「交通」×「教育」

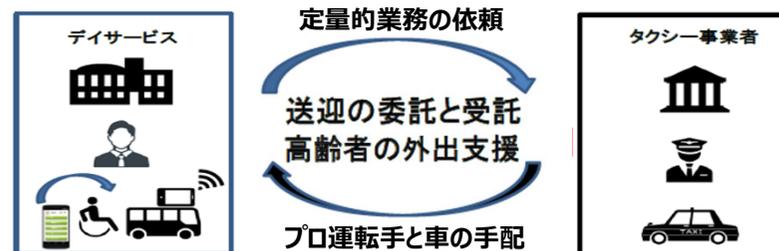
子育て支援・仕事との両立、魅力的な地域づくり



- ・通学する小中学生が、無償で路線バスを利用できることとし、運行ルートが重複している路線バスとスクールバスの運行を実質的に統合。
- ・自治体の教育委員会と交通部局が連携し、運行の合理化と地域住民の移動手段の確保を実現。

「交通」×「介護」

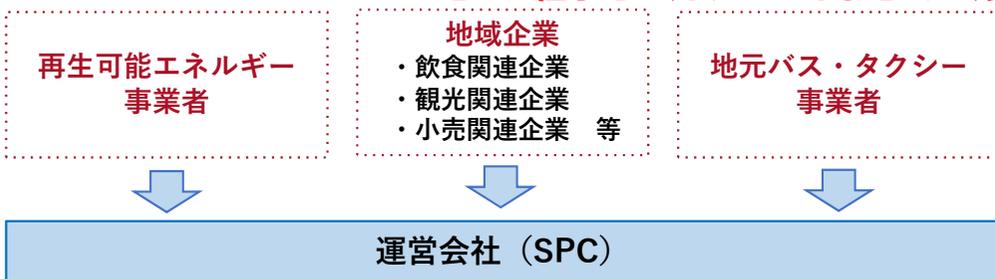
地方に仕事をつくる、魅力的な地域づくり



- ・複数のデイサービス事業所の利用者送迎業務を集約、タクシー事業者へ委託することで、デイサービス事業所の送迎負担を軽減。
- ・タクシー事業者側も、運行のオフピークである昼や夕方時間帯における定量的な業務を確保出来ることから、配車ニーズに応じた業務受託を実現。

「交通」×「まちづくり」「エネルギー」

地方に仕事をつくる、魅力的な地域づくり



- ・地元タクシー事業者によるAIオンデマンド交通の運行について、エネルギー事業者を含む多数の地域企業が出資することで、事業のファイナンス面を支援。
- ・将来的には、交通、教育等の暮らしに関わる様々なサービスについて、再エネによる収益還元を含む一体的な運用モデルを検討。

「交通」×「農業」・「医療」

地方に仕事をつくる、魅力的な地域づくり

■フルスペック（設置スペースがあり利用客が見込めるエリアに設置）



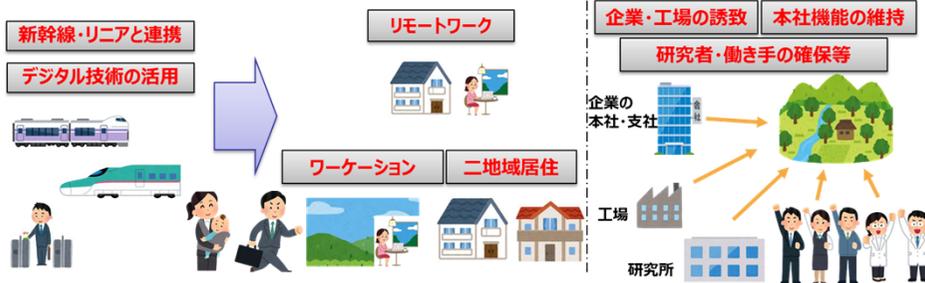
- ・バスターミナルに賑わいや人流を創出し、結節点としての機能を強化するため、バス事業者が団地内で運営する店舗を活用し、バスターミナルとして整備・運営。
- ・バスターミナルでは、地元企業による地場農産物販売(バス車両に混載輸送)や、クリニックによる簡易健康相談サービスの提供等を実施。

【参考】幹線鉄道における様々な分野との連携・協働の推進

- **地域間連携による広域的な地域生活圏の形成**や、**時間距離の短縮による大都市圏との一体機能化**が必要。このため、地域の社会的課題を解決する取組と連携して、**地域の実情に応じて**、これらを支える**幹線鉄道ネットワークの高機能化・サービス向上**

地方の「仕事」を支える

地方に仕事を生み出す、魅力的な地域づくり



- ・地方の雇用を創出するとともに、地方における「仕事」を支える労働力を確保するため、新幹線・リニアと連携し、デジタル技術を活用したサービスも併せて、**地域生活圏内や地方への通勤環境の改善、リモートワーク等の新たな働き方への対応**が求められている。
- ・上記の取組により、**地方への企業・工場の誘致、本社機能の維持、研究者・働き手の確保等**を促し、**新たな社会経済圏の形成**を図る。

地方の「観光」を支える

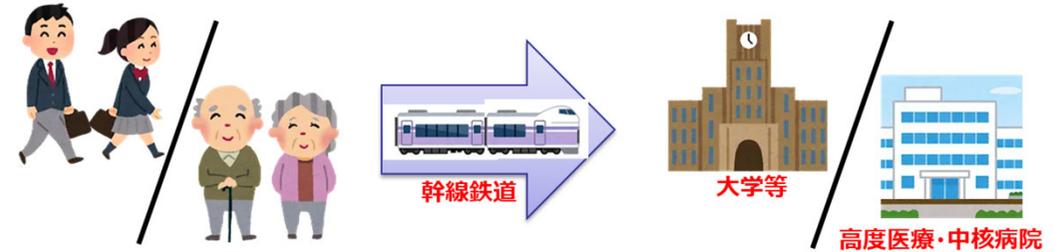
地方への観光を促進する、魅力的な地域づくり



- ・地方へのインバウンドを含めた観光需要の創出を図るためにも、また、地方の「観光」を支える労働力を確保するためにも、**地方への移動環境の改善や、MaaS等との連携**が求められている。
- ・上記の取組により、**観光による都市間移動を促進し、新たな社会経済圏の形成**を図る。

地方の「教育環境」「医療環境」を支える

広域の地域生活圏の中や大都市圏との間で通学・通院できる、魅力的な地域づくり



- ・地方の「教育環境（大学等）」や「医療環境（高度医療、中核病院等）」について、**広域の地域生活圏の中や大都市圏との間で通学・通院ができる環境の形成**が求められている（マイナンバーカード等デジタル技術の活用を含む。）。
- ・上記の取組により、例えば、教育環境は**生活基盤を移さない通学の実現**、医療環境は**広域の地域生活圏内での高度医療・通院の実現**など、**新たな社会経済圏の形成**を図る。

地方の「物流」を支える

地方の産品を大都市に輸送できる、魅力的な地域づくり



- ・地方の「物流」を支える労働者不足が顕在化する中、**幹線鉄道を利用した貨物の輸送等**が求められている。
- ・上記の取組により、**販路が限定されていた地域の名産品を輸送する等、新たな社会経済圏の形成**を図る。

- 地域生活圏の形成等を通じた快適に暮らし続けることができる持続可能で魅力的な地域づくりに向けては、ゆとりと活力ある都市の構築の実現に加え、地方に仕事をつくるリアルな取組が求められる。
- このため、気候変動への対応や生物多様性の確保、人々のWell-beingの向上を達成するため、多様な機能を有する都市緑地の量・質の確保や都市のエネルギー利用の再エネ化・効率化に向けて民間資金の活用を図るなど、官民で連携した取組を推進する。
- さらに、製造業等の域外から稼ぐ産業の地方立地や地方におけるイノベーション創出の取組を推進し、地方に仕事をつくとともに、地方に豊かさを取り戻すため、中心市街地等の再生を図り、域内の消費、経済循環を促進する。

都市にゆとりと活力を生み出す

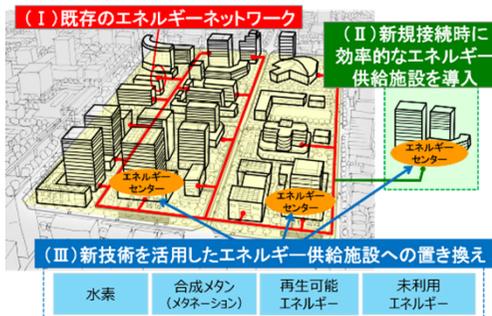
背景

気候変動対策や生物多様性の確保といった地球規模の課題等への対応、人々のWell-beingの実現に資する多様な機能を有する**都市緑地の量・質の確保**や都市の**エネルギー利用の再エネ化・効率化**は喫緊の課題。

- ・ 都市緑地の量・質の確保に係る**民間資金の有効活用**や、**自治体等の更なる取組への支援**により、**緑地のネットワークを構築し、緑豊かな居心地の良いまちづくりを進める**。
- ・ 都市における**再エネ化等の取組に対する集中的な支援**や、デジタル技術を活用した**エネルギー利用の効率化**に向けた仕組みを導入するなど、取組を深化。



良質な緑地の確保を通じた魅力的な空間の形成



エネルギーの面的利用のイメージ

地方に仕事をつくる

背景

地方は、人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小、中心市街地の衰退といった課題を抱えており、**民間の消費、投資を喚起するまちづくり**が求められている。

- ・ サプライチェーン対策としての製造業の国内回帰の動き等に対応して、**製造業等の域外から稼ぐ産業の地方立地を促すための関連都市インフラの整備や土地利用を推進**するとともに、**地方におけるイノベーション創出を促進し、地方に仕事をつくる**。
- ・ **子育て世帯にとって魅力あるまちづくり、空き家・空き店舗対策の推進**により、**中心市街地等の再生**を図り、**域内の消費、経済循環を促進する**。



産業集積の促進（北上市）



まちなかの賑わいの創出(熊本市)

都市にゆとりと活力をもたらす上記の取組等を推進し、魅力的な地域づくりを目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に貢献

【参考】新たな国土形成計画(全国計画) 原案(概要)

新たな国土の将来ビジョン

計画期間：2050年さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間

時代の重大な岐路に立つ国土 《我が国が直面するリスクと構造的な変化》

地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり

- ・未曾有の人口減少、少子高齢化がもたらす地方の危機
- ・巨大災害リスクの切迫(水災害の激甚化・頻発化、巨大地震・津波、火山噴火、雪害等)
- ・気候危機の深刻化(2050年カーボンニュートラル)、生物多様性の損失

コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化

- ・テレワークの進展による転職なき移住等の場所に縛られない暮らし方・働き方
- ・新たな地方・田園帰りの動き、地方での暮らしの魅力

激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

- ・DX、GXなど激化する国際競争の中での競争力の低下
- ・エネルギー・食料の海外依存リスクの高まり
- ・東アジア情勢など安全保障上の課題の深刻化

豊かな自然や文化を有する多彩な地域からなる国土を次世代に引き継ぐための**未来に希望を持てる国土の将来ビジョンが必要**

目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土 ～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～」

デジタルとリアル融合による 活力ある国土づくり

～地域への誇りと愛着に根差した地域価値の向上～

巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する 安全・安心な国土づくり

～災害等に屈しないしなやかで強い国土～

世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む 個性豊かな国土づくり

～森の国、海の国、文化の国～

国土づくりの戦略的視点 ①民の力を最大限発揮する官民連携 ②デジタルの徹底活用 ③生活者・利用者の利便の最適化 ④縦割りの打破(分野の垣根を越える横串の発想)

※南北に細長い日本列島における国土全体での連結強化
※広域レベルからコミュニティレベルまで重層的な圏域形成

国土構造の基本構想 「シームレスな拠点連結型国土」

〈広域的な機能の
分散と連結強化〉
階層的なネットワーク強化
〈持続可能な生活圏
の再構築〉

- ◆ 中枢中核都市等を核とした広域圏の自立的発展、日本海側・太平洋側二面活用等の広域圏内・広域圏間の連結強化を図る「全国的な回廊ネットワーク」の形成
- ◆ リニア中央新幹線、新東名・新名神等により三大都市圏を結ぶ「日本中央回廊」の形成による地方活性化、国際競争力強化
- ◆ 生活に身近な地域コミュニティの再生(小さな拠点を核とした集落生活圏の形成、都市コミュニティの再生)
- ◆ 地方の中心都市を核とした市町村界にとられない新たな発想からの地域生活圏の形成

デジタルの徹底活用による場所や時間の
制約を克服した国土構造への転換

- 東京一極集中の是正(地方と東京のwin-winの関係構築)
- 国土の多様性(ダイバーシティ)、包摂性(インクルージョン)、持続性(サステナビリティ)、強靱性(レジリエンス)の向上

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

- 「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合
- 生活圏人口10万人以上を一つの目安として想定した地域づくり(地域の生活・経済の実態に即した市町村界にとられない地域間の連携・補完)
- 「共」の視点からの地域経営(サービス・活動を「兼ねる、束ねる、繋げる」発想への転換)
 - ✓ 主体の連携、事業の連携、地域の連携
- デジタルの徹底活用によるリアルの地域空間の質的向上
 - ✓ デジタルインフラ・データ連携基盤・デジタル社会実装基盤の整備、自動運転、ドローン物流、遠隔医療・教育等のデジタル技術サービスの実装の加速化
 - ✓ 地域交通の再構築、多世代交流まちづくり、デジ活中山間地域、転職なき移住・二地域居住など、デジタル活用を含めたリアル空間での利便性向上
- 民の力の最大限活用、官民パートナーシップによる地域経営主体の創出・拡大

相互
連携
による
相乗
効果
の
発揮

持続可能な産業への構造転換

- GX、DX、経済安保等を踏まえた成長産業の全国的な分散立地等
- 既存コンビナート等の水素・アンモニア等への転換を通じた基幹産業拠点の強化・再生
- スタートアップの促進、働きがいのある雇用の拡大等を通じた地域産業の稼ぐ力の向上 等

グリーン国土の創造

- 広域的な生態系ネットワークの形成、自然資本の保全・拡大、持続可能な活用(30by30の実現、グリーンインフラの推進等を通じたネットワーク化)
- カーボンニュートラルの実現を図る地域づくり(地域共生型再エネ導入、ハイブリッドダム等) 等

人口減少下の国土利用・管理

- 地域管理構想等による国土の最適利用・管理、流域治水、災害リスクを踏まえた住まい方
- 所有者不明土地・空き家の利活用の円滑化等、重要土地等調査法に基づく調査等
- 地理空間情報等の徹底活用による国土の状況の見える化等を通じた国土利用・管理DX 等

地域の安全・安心、暮らしや経済を支える
国土基盤の高質化

- 防災・減災、国土強靱化、生活の質の向上、経済活動の下支え [機能・役割に応じた国土基盤の充実・強化]
- 戦略的マネジメントの徹底によるストック効果の最大化

- ✓ DX、GX、リダンダンシー確保、安全保障、自然資本との統合等の観点からの機能高度化
- ✓ 賢く使う観点からの縦割り排除による複合化・多機能化・効果最大化
- ✓ 地域インフラ群再生戦略マネジメント等の戦略的メンテナンスによる持続的な機能発揮

地域を支える人材の確保・育成

- 包摂的社会に向けた多様な主体の参加と連携
- こども・子育て支援、女性活躍
- 関係人口の拡大・深化

分野別施策の基本的方向

- 地域の整備(コンパクト+ネットワーク、農山漁村、条件の厳しい地域への対応等)
- 産業(国際競争力の強化、エネルギー・食料の安定供給等)

- 文化及び観光(文化が育む豊かで活力ある地域社会、観光振興による地域活性化等)
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

- 防災・減災、国土強靱化
- 国土資源及び海域の利用と保全(農地、森林、健全な水循環、海洋・海域等)
- 環境保全及び景観形成

計画の効果的推進 広域地方計画の策定・推進

- 地理空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

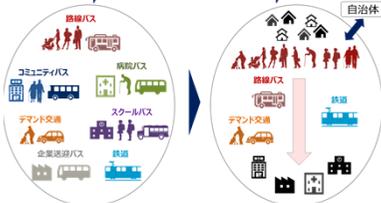
新しい資本主義、デジタル田園都市国家構想の実現

【参考】「地域生活圏」の形成で変わる地域の姿(イメージ)

地域をつなぐ持続的な
モビリティ社会の実現

地域公共交通のリ・デザイン

交通手段が重複 → ネットワークの統合 → エリア一括協定運行



交通DX・GXや、地域の関係者との共創を通じ、地域公共交通ネットワークの利便性・持続可能性・生産性を向上
⇒地域公共交通特定事業実施計画の認定:2027年度までに300件

自動運転

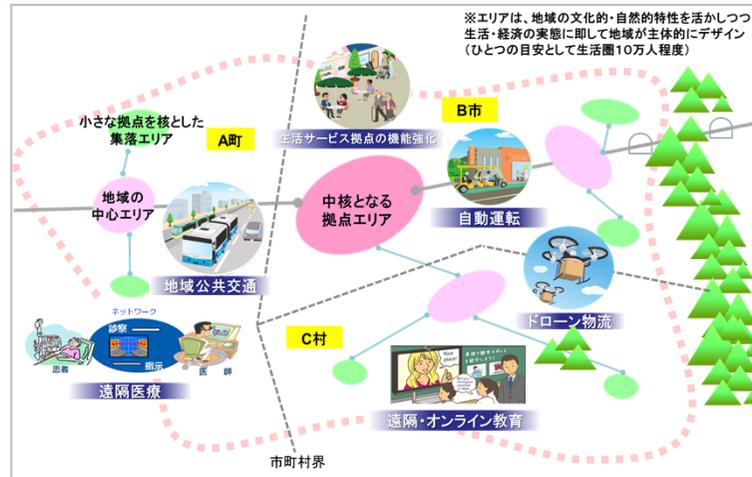


(福井県永平寺町)
出所:中部運輸局HP

地域限定型の自動運転移動サービスの実現

⇒50か所程度(2025年度目途)、
100か所以上(2027年度まで)

※デジタル活用では解決できない地域課題に対しても、地方創生の一層の取組強化を図る。



デジタル・ガバメントの推進

- ◆ 基幹業務等のシステムの統一・標準化、行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの普及・利用促進等
- ◆ 「書かないワンストップ窓口」の横展開

デジタル基盤の整備・活用

- ◆ 5G、光ファイバ等のデジタルインフラ、データ連携基盤
- ◆ 自動運転・ドローン物流等の実装を支えるデジタルライフライン(センサー、乗換え・積替え拠点等)

遠隔医療



モバイルクリニック(長野県伊那市)
出所:長野県HP

住民に身近な場所を活用した遠隔医療

⇒国の補助事業により遠隔医療を実施する医療機関:235件(2023～2027年度累計)

新たな発想からの地域マネジメント

- 「共」の視点からの主体・事業・地域間の連携(官民パートナーシップによる地域経営)
- デジタルの徹底活用による地域空間の質的向上

まちでも中山間地域でもデジタル活用で安心・便利な暮らし

「デジ活」中山間地域



出所:農林水産省HP

スマート農業、ドローン物流等を組み合わせたプロジェクトを実現

⇒2027年度までに全国150か所以上

多世代交流まちづくり



出所:国土交通省HP

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり、建築・都市のDX

⇒2027年度までに3D都市モデルの整備都市500都市

転職なき移住・二地域居住等



出所:内閣官房HP

テレワークの普及等による地方への人の流れの創出・拡大、空き家等の活用促進

地域を支える人材の確保・育成

包摂的社会、こども・子育て支援、女性活躍、関係人口の拡大・深化

「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合 → 全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会